



すぎのこ 5月号

<http://www.shokei-gakuen.ac.jp/kids/>



第2号

平成30年4月27日
幼保連携型認定こども園
尚綱大学短期大学部
附属こども園

4月が終わります。今年の春は寒暖の差が激しくあっという間に過ぎてしまった気がします。保護者会、家庭訪問、入学式等々、月初めから保護者の皆様には随分と時間をいただきました。ご多用な中にご対応いただいたことに心から感謝申し上げます。おかげさまで、保護者の皆様の顔を思い浮かべながら、子どもたちに向かい合うということができ、教職員にとっては、とてもありがたく思っています。今後とも保護者の皆様と手を携えて子どもの成長を楽しみたいと思います。

さて、明日からは、ゴールデンウィーク前半の連休です。新しい出会いや環境の変化があり、子どもたちも大人も4月は緊張した日々を送ったことと思います。連休はリフレッシュするための絶好の機会です。新緑薫る一年で最も過ごしやすい時期に休日を有効に活用し、1学期を乗り切る英気を養ってほしいものです。ただ、「五月病」という言葉もあります。ほどよい緊張感で、生活のリズムを身につけてきた子どもたちのペースが乱れぬよう生活面でのご家庭のご協力をお願いいたします。

今年の努力目標は、 「元気なあいさつ」です。



～尚綱こども園の本年度重点目標から～

本年度の園の重点努力目標の一つで、ぜひ子どもたちに身につけさせたいのが、「元気なあいさつ」です。すでにご家庭によっては、その意味を十分ご理解され、実践されているところもあると思います。「あいさつ」というのは人が社会生活を営む上で大変重要な行動です。これは、「相手を認める」ということの第一歩だからです。

現代の子どもたち(特に、日本の子どもたち)の課題の一つに「相手意識の欠如」があげられることがあります。この「相手意識の欠如」は「思いやりの欠如」「規範意識の希薄さ」ひいては、グローバル化著しい現代社会の中でもっとも必要なコミュニケーション力やプレゼンテーション力の弱さにもつながり、日本人の世界のなかでの競争力の低下にもつながっています。

「あいさつ」ひとつで大げさな話のようですが、ご存知のように平成31年度から小学校の学習指導要領が全面実施されるのに伴い、本年度から就学前教育(子ども園、幼稚園、保育園)の教育・保育要領が全面実施されることになっています。この流れは、全て、これからの日本人に必要な資質・能力を改めて見直し、グローバル社会に対応できる日本人を幼児期から大学まで一貫した視点で育てていこうという表れなのです。

そして、日本人として必要な資質・能力として今回特に示されたものが「**人間性・学びに向かう力**」です。幼児教育において「**人間性・学びに向かう力**」につながるものが「**あいさつ(相手意識)と自尊感情(自分自身を肯定する気持ち)**」だと考えています。

幸い本園は、恵まれた環境を生かし伝統的に自尊感情と園児の興味関心を尊重する教育を行ってまいりました。園での子どもたちは、全身を使って、自分の興味、関心のある活動を見つけ、自信を持ってそれを教師や友達に語ってくれています。

一方、あいさつや規範意識といった社会性とかかわる面については、「しつけ」という言葉があるように、「型」を身に付けることが大切です。たくさんの人々とのかかわりの中で繰り返し「型」に接する中で身につけていくものです。つまり、子どもたちの心の中にたくさんの人たちを住まわせることよって相手意識が育われます。

核家族化、少子化、地域とのつながりの希薄化などのため、現代の子どもたちは、日常で関わる人々の数が限られてきています。そのため、古来、家庭の中で培われてきた「しつけ的な面」を公教育を中心として社会全体で補わなければならない時代になっています。

本園では、その**第一歩が「元気なあいさつ」**だと考えます。ご家庭内でのあいさつは、もちろん、子どもたちが自分の生活に関わる全ての人に感謝の気持ちを込めながら「笑顔で元気なあいさつ」ができますよう保護者の皆様と連携して取り組んでまいりたいと思います。ご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。

~~~~~



### 美佳先生! 元気な赤ちゃんを産んでね!

大倉美佳教諭が6月の出産を控え、4月23日より産前休暇に入りました。20日(金)には全体集会を開き、年長の各クラス代表からプレゼントが贈られました。来春には、復帰予定です。

